資料１－５

News Release

平成 23 年 11 月 30 日
消　費　者　庁

冬の身近な危険について　その１

湯たんぽによるやけどにご注意を！

消費者庁では、これより３回に分けて、特に冬の季節にご注意いただきたい事故事例をご紹介し、消費者の皆様に注意を呼びかけてまいります。

特に、今年の冬は節電のために、エアコンなどの暖房器具の使用を控えて、湯たんぽを使用される方も多くなると思われます。やけどをしないように注意しましょう。
これから本格的に寒い季節を迎えるに当たり、昨年度の事故事例の一部をご紹介するとともに、あわせて以下のように注意を呼びかけます。

１．電子レンジ加熱式湯たんぽ

電子レンジ加熱式湯たんぽ（電子レンジで加熱し、内部の保温材に蓄熱させる製品）の使用の際に次の事故情報※が寄せられました。

■事例１
幼児が、製品を電子レンジで加熱し、使用しようとした際、当該製品の内容物が漏れ、手の甲にやけどを負った。（平成 23 年１月　東京都）
■事例２
製品を電子レンジで加熱中、「ボン」という音がしたので当該製品を取り出そうとしたところ、ゲル状の内容物が飛び出して手の甲に付着し、やけどを負った。（平成 23 年１月　岩手県）

電子レンジ加熱式湯たんぽは、製品に定められた所定の加熱時間を超過したり、レンジ出力を過大に誤ったりすると、過剰な熱量が保温材に蓄えられるため、製品が膨張するなどして、破裂や破損に至る場合があります。

[注意していただきたい点]
① 取扱表示や注意表示にあるレンジ出力及び加熱時間を必ず守ってください。表示よりも過剰に加熱すると、袋やケースが破損又は破裂し、高温の内容物が漏れ出たり、飛び散ったりしてやけどするおそれがあります。
② 袋が膨張した場合や内容物（ジェル又は液体）が漏れ出た場合には、直ちに電子レンジのスイッチを切り、その後十分に時間を置き冷却したことを確認したうえで、レンジ扉を開けるなどしてください。

③　温かいうちの再加熱は行わないでください。また、再加熱の際の取扱表示がある場合は、それに従ってください。

④　温めボタンなど電子レンジの自動モード（オート加熱）を使用すると、過剰加熱となるおそれがありますので、自動モードでは加熱しないでください。

⑤　長期間の使用により、袋（又はケース）の強度が低下する可能性がありますので、袋（又はケース）に弾力性低下、亀裂や変形などが見られた場合には使用を中止してください。

⑥　取扱表示どおり加熱しても、袋（又はケース）表面が、部分的に高温になる場合がありますので、電子レンジから取り出す際には注意してください。

⑦　電子レンジで加熱する場合は、お子様には操作をさせないか、必ず保護者のもとで加熱を行ってください。

（参考）

電子レンジ加熱式湯たんぽのやけど事故については、平成19年２月に独立行政法人製品評価技術基盤機構が、平成21年11月に独立行政法人国民生活センターがそれぞれ注意喚起を行っています（下記のＵＲＬを参照)。

(http://www.nite.go.jp/jiko/news/079/news79.html)

(http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20091104_1.html)

２．その他の湯たんぽ

電子レンジ加熱式以外の湯たんぽにおいても、使用の際に次の事故情報※が寄せられました。

■事例１

湯たんぽ（樹脂製）を湯たんぽカバーに入れて使用中、足に低温やけどを負った。(平成22年11月　埼玉県)

■事例２

湯たんぽ（樹脂製）に熱湯を入れ、蓋をして湯たんぽカバーに入れようとしたところ、当該製品から熱湯がこぼれ、やけどを負った。(平成23年１月　北海道)

■事例３

電気蓄熱式湯たんぽに湯たんぽカバーを装着せず、電源プラグをコンセントに接続した状態で蓄熱充電していたところ、当該製品の袋部分が破れ、内容物が漏れてやけどを負った。(平成23年２月　兵庫県)

[注意していただきたい点]

①　「低温やけど」*にご注意ください

＊　比較的低い温度（44℃～50℃）のものでも長時間にわたって皮膚の同じ個所に触れていると、「低温やけど」を起こします。

・　湯たんぽを厚手のタオルや湯たんぽ袋、専用カバーなどで包んでも、「低温やけ

ど」を起こすおそれがあります。湯たんぽは就寝前に布団の中に入れ、温まったら布団から出してください。

・「低温やけど」は、見た目より重傷であるケースが多く見られます。もし「低温やけど」をしてしまったら、直ちに医師の診察を受けましょう。

② 湯たんぽから湯が漏れないことを十分に確認の上、使用してください。亀裂や漏れなどが見られた場合は使用しないでください。

③ 電気蓄熱式湯たんぽは、蓄熱充電が完了し、電源コンセントからプラグを外してから使用してください。蓄熱充電状態のまま使用しないでください。(詳しくは、製品の取扱説明書を確認してください。)

④ ガスこんろや電磁調理器で直接加熱するタイプの金属製湯たんぽは、必ず口金(キャップ)を外してから加熱してください。口金(キャップ)をしたまま加熱すると、内圧が上昇して破裂し、熱湯や破片を飛び散らせることがあり、大変危険です。

⑤ お子様や身体の不自由な方などがご使用になる場合は、まわりの方が十分にご注意ください。

※ 寄せられた事故情報については、現時点において、関係機関等で調査中であり、事実関係や事故原因が確定されたものではありません。

なお、暖房器具による事故防止に関しては、平成23年10月に独立行政法人製品評価技術基盤機構が注意喚起を行っています(下記のURLを参照)。

(http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs111020.html)

３．事業者による回収等が行われている商品

以下の商品は、事業者により回収が行われています。該当する商品をお持ちの方は、直ちに使用を中止して、事業者に連絡してください。

■商品名：夢暖（旭電化工業株式会社）、安眠物語（株式会社バイオスインコーポレーション）
あったまりーな（山甚物産株式会社）、レンジで湯たんぽ（ピップトウキョウ株式会社）
チビ暖くん（ピップトウキョウ株式会社）　※（　）内は販売元
（電子レンジ加熱式湯たんぽ）（1994年～1999年まで製造）

製造者：旭電化工業株式会社（現社名：株式会社ＡＤＥＫＡ）

概要：電子レンジでの加熱の仕方により一部の製品で容器が破損して中身の高温の液体が飛散し、やけどを負う事故が発生したため、商品回収を実施
（http://www.adk.co.jp/news/2011/111110yu.html）

問合せ先：株式会社ＡＤＥＫＡ化学品企画部　　専用フリーボイス　0120-963-240
受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

■商品名：レンジでチン　ハローキティホット２フレンド
（電子レンジ加熱式湯たんぽ）（1998年11月から2000年４月まで販売）

販売元：株式会社タカラ（現社名：株式会社タカラトミー）

製造元：旭電化工業株式会社（現社名：株式会社ＡＤＥＫＡ）

概要：加熱により容器が破損して中身の液体が飛散し、やけどの事故が発生したため、商品回収を実施
（http://www.takaratomy.co.jp/products/information/hot.html）

※「商品に使用しているキャラクターの版権元、株式会社サンリオ様には、本件に関して一切責任はございません。」
（販売元ホームページから）

問合せ先：タカラトミー　ホット２フレンド専用ダイヤル　フリーダイヤル 0120-35-1031
受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

■商品名： 抱き枕ポカタン（おやすみ羊、くたねこたま、ハート、ぽかぱんだ）

お昼寝ポカタン（おやすみ羊、くたねこたま、ハート、ぽかぱんだ）

足先ポカタン（おやすみ羊、くたねこたま、ハート、ぽかぱんだ）

ショルダーポカタン（おやすみ羊、くたねこたま、ぽかぱんだ）

（電子レンジ加熱式湯たんぽ）（2008 年８月 18 日から９月 18 日まで販売）

販売者：株式会社ほんやら堂

概要：水を十分に含ませずに電子レンジで加熱すると、規定時間内の加熱でもパックが過熱し、発火するおそれがあることが判明したため、自主回収を実施

（http://www.honyaradoh.com/00e00ca/news_detail.php?cid=237）

問合せ先：株式会社ほんやら堂　お客様相談室　フリーダイヤル　0120-635-376

受付時間　9:00～17:30（土・日・祝日を除く）

■商品名：電気蓄熱式湯たんぽ「お湯ポカ」

（2008 年 9 月から 2009 年 6 月まで販売）

販売元：桐灰化学株式会社　　　輸入元：フカダック株式会社

概要：本体のプラグ差込口の絶縁不良によりショートが起こり、専用カバーを焦がす事故があったため、商品回収を実施

（http://www.kiribai.co.jp/whatsnew/history.php?pageID=2）

【パッケージ画像＆本体画像】　　【専用カバー装着時の本体】

（専用カバー装着時の本体画像）

（タグ）

問合せ先：桐灰化学株式会社「お湯ポカ」製品係　フリーダイヤル 0120-012-567

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

また、事業者により廃棄のお願いが出ている製品があります。該当する商品をお持ちの方は、直ちに使用を中止してください。

■商品名：マロニーゆぽん

（電子レンジ加熱式湯たんぽ）（1995 年から 2002 年まで販売）

販売者：不二ラテックス株式会社　　※製造者は既に存在しない。

概要：販売開始から 15 年が経過しており、耐用年数（耐用回数）を超えて使用されている可能性があるため、商品廃棄のお願いについてホームページに掲載

(http://www.fujilatex.co.jp/jp/wp-content/uploads/20110222.pdf)

問合せ先：不二ラテックス株式会社お客様相談室　　フリーダイヤル 0120-17-0765

受付時間　9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

《問合せ先》

消費者庁　消費者安全課　滝

消費者政策課　太齊、糸瀬

TEL：03－3507－9261

FAX：03－3507－9287

HP：http://www.caa.go.jp